

慰安婦問題で政府首脳

一色といちのは、バランスがまずいのではないかと述べ、日韓首脳会談で従軍

慰安婦問題だけが突出して扱われることについて懸念を示した。

「反省土台に
壁崩す努力」
韓国大統領あいさつ

宮沢首相が表明

【ソウル16日ロイター】
宮沢首相は十六日の第一回
首脳会談後、ソウル市内の
総合庁舎で韓国の鄭元植首
相と約二十分間会談し、朝

朝鮮）の国際原子力機関（IAEA）による検査を受け入れた（「日朝国交正常化交渉を進める絶対条件だ」と述べた。政府がこれまで探ってきた「前提条件」との位置付けを、より強く示す狙いといわれる。

李恵・韓国大統領夫妻主催の夕食会が十六日午後七時前から、青瓦台（大統領官邸）の迎賓館で開かれた。盧大統領はあいさつで、日韓間の貿易不均衡を取り上げ、「より成熟した関係築き上げ、より発展した関係構築のために必ず実現されな

「反省土台に
壁崩す努力

韓国大統領あいさつ

【ソウル16日】波佐義清、宮沢首相を迎えての慰問、韓国大統領夫妻主催の夕食会が十六日午後七時前から、青瓦台（大統領官邸）の迎賓館で開かれた。盧大統領はいささで、日韓間の貿易不均衡を取り上げ、「より成熟した関係築設のために必ず克服されな

訪韓は二十一世紀に向けた
 深いていかなければならな
 い」と述べた。

盧大統領は「宮沢首相の「アジアと世界」について、「アジアと世界」のために協力関係を一層深めていかなければならな

同伴關係をより強固なものにする契機となるはず」としつつ、貿易不均衡問題に言及。過去の歴史の問題にも触れ、「歴史に対する正しい認識と謙虚な反省を主

台にして心の弊を取り除き
ようお互いに真摯（しんし）
しな努力を傾けなければ
ならない」と述べた。

首相も「過去の一時期、
貴国国民がわが国の行為に

よって耐えがたい苦しみと悲しみを体験された事実を想起し、反省する気持ちをお忘れないようにしなければならぬ」と、一語一語かみしめるように語った。

「日韓協力」像にズレ

政治面で韓国に警戒感

【解説】十六日の日韓首脳会談で、盧泰愚大統領は、日本に期待する一冷戦後の役割を経済面に限り、しかも「経済大国らしい歩歩」をはっきり求める考えを示した。先に訪日したブッシュ米大統領も、この日の会談で、冷戦後の日韓の協力が不可欠との総論では一致した。宮沢首相は「新しい世界平和秩序づくりに協力したい。このことには賛意を置いた。」しかし、盧大統領は、南北朝鮮の「和解と交流」、北朝鮮の「自国の経済発展を促進する」

「本日は七日の議題だが、今日が一日」と断つて、早くも日韓問題に突如。九一韓領問題に言及。韓国側は一年で約十億、韓国側統計にはる対日貿易赤字、日韓間の歴史に対する字々、日韓間の歴史に対する日本の認識を持ち出した。

半面、韓国側は日本が「政治大国」になろうとする動きには、警戒感を募らせる。自衛隊を使つた日本本國の運平和維持活動、PKO協力には、きつとこの裏れを刺した。これは山崎の